（昭和31年8月15日）（水曜日）第1884号　常磐毎日新聞　（昭和30年1月22日 第三種郵便物認可）夕刊（日曜、祭日 休刊）

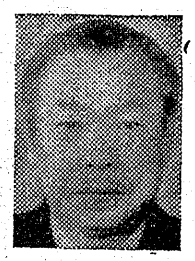
常磐毎日

発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
電話1210番

小川・愛谷江の改修本決り

総工費四億五百萬

高木代議士から朗報



高木代議士

平市を縦断して小川から四倉に流れる小川江筋と、愛谷から亀間に抜ける愛谷江筋水路の老朽化した水路の改修をはかり両流域にそうた水田一千七百五十八町歩のかんがい用水路の円滑な運営と水害を防止するとともに米五千石の増産をめざして、昨年九月両水利組合では合併して夏井川沿岸土地改良連合区を結成、農林省、大蔵省、建設省などに三カ年継続工事総工費四億二千万円にのぼる大改修工事を、地元選出高木松吉代議士を通して陳情をしていたが十五日高木代議士から八月十日付で総工費四億五百万円、五カ年継続県営工事で着工することに正式決定したと連絡があり、関係者を喜ばしている。

五カ年計画で

来年度から着工する

両江筋では去る二十八年から水路の調査を行い二十九年調査が終ると同時に農林省など関係当局に早期着工を陳情していたが、農林省では三十一年の水路改修工事は全国で二十五カ所、このうち十九カ所は継続工事であるため、新規工事は六カ所となつていた、しかしこの六カ所も予算難から継続工事も併せて二十カ所で打切りになり残りの工事は来年度まで持こされる見通しが強くなつたため同連合区では高木氏を通じて強力に働きかけていたもので、去る七月二十日も渡辺貿一連合区理事長、植田万治郎小川江理事、青木半次郎愛谷江理事長らが同氏の案内で河野農林大臣に陳情最後の追込みが成功したもの。

十日農林省が大蔵省の承認を得て正式決定した工事費の内訳によると小川江、愛谷江の県改良事業費は三億三千六百万円、同団体営事業費は六千九百万円となり、これを三十一年度から三十五年度まで五カ年計画で着工することになつた、同連合区の工事計画によると小川江幹線用水路総延長二万五千百三十五、八メートル（内地元負担六百七十六石、大麦千五百九十一石百七十、六八メートル（同二千メートル）その他の支線用水路も同予算で大かんがい用水路に三面舗装で完全改修しようというもので、この工事の完成によつていままで亀裂、陥没、堤防決壊などで悩まされていた問題も一挙に解決するのと米三千五百七十六石、大麦千五百九十一石

臨海學校の不詳事

先生達は酒盛り

溺れた生徒は地元民が助ける

好間中

各地で水難におそわれ易ましい犠牲者をだしている折、去る七日平市新舞子キャンプ村で開いた臨海学校で監督不充分から女生徒が水にのまれ、危ふく溺死寸前を現場にいた地元青年団の人に救われるという事故が起こつたが、この事故をめぐつて指導中の先生が、前夜もまた事故のあつた夜も酒盛りをしていたことや、また百四十名もの大切な子供を預りながら現地には年若い先生が七名しかゆかず、校長教務主任など責任のある先生は顔を出していなかつたなど学校当局の無責任な態度が次々と明かにされ、事件を知る地元関係者から厳しい批判を集めている好間村好間中学校（校長田子恭作氏）では毎年夏休みに入ると夏期指導の一助として希望者を募りキャンプ村を開くが今年も去る六日から八日まで行い、第一回目の六七日は希望者のうち男生徒六十四名、二回目の七、八日は女生徒七十六名の一泊指導を行つたが、二日目の七日午後一時二十三分ごろ同校一年生佐々木照子さん（二）＝好間村今新田農業佐々木良政さん三女＝は新舞子海岸で水泳中突然波にのまれて救いを呼んだため、附近にいた地元の新妻信明さんと阿部邊男さん、矢吹良久さんの三人がやつと助けた。

このため事故は傷ましい惨事となつて現われなかつたが、この事故のあつたとき水泳中は常に生徒のそばについて警戒すべきはずの先生が居ないばかりか照子さんの溺れたものも知らないでいたということから父兄、地元民、目撃者から百四十名の子供たちを指導するのに、七名ばかりの先生では足りないのにその上先生方が昼間から酒をのんでいた？などの比例の声が上つている。

これに対し学校では昼間酒をのんだ事実はないと否定しているが、夜遅くなつて六日の夜と七日は菜炭瓶から懲問された酒をのんだといつている。

風間県教委出張

所長の話

「まだ正式の報告が出ていないのでくわしいことは判らない。夏期休み中の学校行事に対しては前々から指導していたが、このような事故が起つて誠に申訳ないと思う今後このような事がないようよく指導する」

某父兄の話

「昼間酒をのんだ事実はなくても大切な子供を預る先生方が例え夜でも酒を喰むということは厳につつしむことと考える。幸い無事で済んだから良いようなもの、これからは細心の注意をはらつて指導して頂きたい、また学校側にも一言を呈したい、これだけ多ぜいの生徒たちを預かるのに僅か七名の先生だけでも足りないのに、その上責任者が学校経験も浅い先生ばかりを引率して来たことなどについて学校当局の責任を追及する声が強い。

慎太郎刈り禁止

高校生「逆光線」の観覧も

風紀委選ぶ

四倉町議会

（既報）四倉町議会協議会は昨日十四日午前九時から開かれ午前中に四議案について協議したが、午後一時からは同町駅前から海岸に通ずる新道路以南松林（防風林）に日鉄鉱業KK社宅と事務所敷地五百坪建設するため一部の防風林を伐採するが、旧大浦地区の農業団体並びに青壮年から、松林を伐採されては農作物などの収穫が潮塩害によつて甚大な被害をこうむるため、一本なりとも伐採はさせないとの反対があるので同議会では円満解決するため正、副議長、総務委員全員と吉田正、長谷川慎次郎、江口勇三町議ら十一名の交渉委員を決め十六、七日ころ旧大浦地区農業団体、関係者らと交渉することになつた。

防風林問題

交渉委選ぶ

四倉町議会

（既報）四倉町議会協議会は昨日十四日午前九時から開かれ午前中に四議案について協議したが、午後一時からは同町駅前から海岸に通ずる新道路以南松林（防風林）に日鉄鉱業KK社宅と事務所敷地五百坪建設するため一部の防風林を伐採するが、旧大浦地区の農業団体並びに青壮年から、松林を伐採されては農作物などの収穫が潮塩害によつて甚大な被害をこうむるため、一本なりとも伐採はさせないとの反対があるので同議会では円満解決するため正、副議長、総務委員全員と吉田正、長谷川慎次郎、江口勇三町議ら十一名の交渉委員を決め十六、七日ころ旧大浦地区農業団体、関係者らと交渉することになつた。

常磐でパルプ工場計画

常磐炭砿では毎年坑木として買入れる原木のうち、相当量の不適格坑木があるため、これをいつもパルプ会社に売つていたが、最近のパルプ界の好況から売つていた不適格坑木を転用してパルプ工場建設を目論でおり、近く具体化する見込であるといわれる

漬物講習会

平市で開く

農家で栽培しているナス、キウリ大根、白ウリなどの夏野菜を加工して有益に販売しようと平市農務課では二十四日高久、夏井両地区を対象に農林省農村工業指導所の農産加工第一課長佳竹秀雄技官を招いて「漬物」講習会を開くことになつた。

菓子銘段最中

平凡

これは平地方のタクワンなどの漬物は他県から輸入して消費していたが、この輸入を最少限にとどめるため高久地区の酒カスを利用してタクワン、福神漬ナラ漬を共同加工して販売、特産物にしようというねらいから講習会を開くことになつたもの

今晩のナイトショウ

▽紋三郎の旁　十時三十分から　世界館
▽火の車お万　孝子五郎正宗　十時十分から　東映劇場
▽名犬物語・おもちやの反乱　八時から　平館
▽マカラコロム　八時から　民劇

明日のモーニングショウ

（海上）今晩おだやか、明日多少風波がある。

夏家具と家庭用品
冷蔵庫、夏びよう風、ハイ腰籐いす、スタンド、その他
自家製造元の
伊東家具店
平市新川町 電四六四番

佛具・壇佛
盆提灯
各種婁宮入荷
本店平銀座電223 支店平四丁目
あるや

天気予報

（今晩）北よりの風晴のち曇
（明日）北より一時南東の風朝晩

大慈院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御慮外の儀は誠に失礼ながら御辞退申上げます
昭和三十一年八月　平市南町一七　大和田郡司

宣得院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御慮外の儀は誠に失礼ながら御辞退申上げます
昭和三十一年八月　平市田町一（ほていや商店）　佐藤喜芳　勝見芳昭

梅香院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御慮外の儀は誠に失礼ながら御辞退申上げます
昭和三十一年八月　平市才磯小路　瀬尾善六

修徳院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御慮外の儀は誠に失礼ながら御辞退申上げます
昭和三十一年八月　平市鍛冶町三〇　草野タキ

大乗院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御慮外の儀は誠に失礼ながら御辞退申上げます
昭和三十一年八月　平市大町一五　大森信治

広讃院の新盆にあたりますが提灯その他御供物等御慮外の儀は誠に失礼ながら御辞退申上げます
昭和三十一年八月　平市三丁目（やまと百貨）　北林清

平けいりん
場外車券売場
福島市・郡山市
若松市・平市 大町
発走11時
小雨決行
8月
前節15日16日17日 後節19日20日21日
主催 平市

昭和31年8月15日　(水曜日)　第1884号　常磐毎日新聞　(新聞定価1カ月80円)1部3円・第三種郵便物認可　(二)

二少女溺れ一名死亡

きのう夏井川河口で

十四日午後零時十五分ごろ平市草野夏井川河口から約百メートル上流で水遊びをしていた東京都荒川区南千住三ノ七六会社々長塩田正久さんの長女ヤス子ちゃん(二)＝小学校五年＝と平市一丁目食料品店鍛谷健三さんの長女美恵子ちゃん(八つ)＝平一小二年生＝の両名が深みに入っておぼれているのを魚釣りをしていた同市上神谷字熊ノ下木村近重さん(三七)が発見、救助して人工呼吸をしたがヤス子ちゃんは死亡した。

あて先のない郵便

八月に激増、係員悩す

連日三十度を越す熱さに頭の脳ミソがふやけたわけでもあるまいが、このところ宛名のない封書やハガキが平郵便局に舞込み受付係では宛名と自分の名前は是非忘れずにと、悲鳴をあげている。

平郵便局は平均五十万枚の封書とハガキなどを受付、宛先に発送しているが、このなかに月七枚から多くて十枚くらい宛名も差出名もないのがあつた。ところが夏に入ってからこの宛名も差出人も書れてない郵便物がらなぎ上りに現れ七月に十三枚、八月に月中ばにしてすでに十九枚にも達した。このうちわけてみると封書は少なく、ハガキが圧倒的に多い。特にハガキの場合、いま流行のクイズものが三枚、盆提灯の注文など商店の注文、懸取引ものが六枚暑中御見舞十枚、残りは普通手紙となっている。局では書忘れしたものは届出があればすぐかえすようにしているが、なかには自分の書忘れをたなにあげし、なぜ手紙を届けなかったと窓口で食いかかるものもいる。

これについて同局は暑中の場合は内容を書いてから宛名と差出を書くためなかには忘れたりすることもあるが、まあ本格的夏のおとずれで頭もポーツとして来たためもあるでしょうと語っている。

取扱い件数も増える

なお平郵便局は毎月差出郵便の取扱利用状況を調べているが、八月中に行っている調べによると今年はクイズ熱がたかいためか一般差出が増えたため例年に比べると多くなっていることが判った。

この調査は同局で月のうち平常日(最低取扱)三日間だけ扱つを郵便を計算、月平均を割出すという方法をもちいている。

八月は八、九、十の三日間にわたって調べたものだが、それによると簡易に安く出せるハガキが最も多く一万八千通、次いで開封手紙(八円切手)の六千万通、手紙の五千四百三十四通第三種(新聞)の三千通第三種(新聞)の三千通計三万三千六十八通で月級を割出すと暑中どきとあつて例年の九万枚を上廻る十一万枚が予想され、県下では福島、郡山に次いでいる。また昨年同月に比べて見ると第三種にはほぼ変りないが、開封が千余通、手紙が二百通減つて逆にハガキが千八百通も増えている

これは暑中手紙が多いことクイズ熱がまださめないためとみている。だがクイズハガキは全体の三パーセントもしめていないとの由なお全体的にみると五百通増えている。

病虫害に警戒を

追肥の時期は早目に

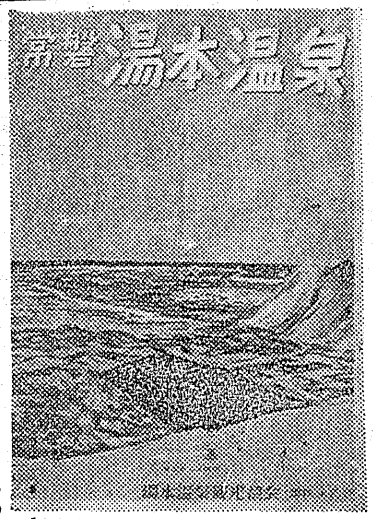
稲作予報

夏作物の育つ盛夏を迎えた石城地方病害虫防除所はこのほどお百姓さんたちに「けいイモチ病の蔓延と二化めい虫発生の時期を迎えたから稲の発育には充分注意するよう」にと警告する一方、今後の稲作育成資料にと稲作状況を病虫害発生予期を発表した。

発表によると▽葉イモチ病の現在までの発生状況は梅雨明けが遅れたためかなりのまん延をみたが、七月下旬から予想以上の好天に恵まれたため停頓している。しかし発生面積は平年に比べるとやや多いのでけいイモチの多発も予想される。発生した場合は有機水銀剤反当四キロ、六斗式石灰倍量ボルトー液反当り八斗から二石撒布すればよい▽二化めい虫は現在のところ発生を見ていないが、八月下旬に入ると昨年発生したところなどに再発生、面積も二千町歩ぐらいの広範囲に予想されている。

この二通りで発生する原因は成育が早くてくきや穂首が軟弱なもの、防除対策としてはパラチオン、BHCなどをもちいるとよい。管内で未然に防ぐための防除期間は八月二十日から二十五日ころまでが最適である。

▽現在までの稲の生育状況は平年に比べ草丈九五パーセント、茎数一一四パーセントで軟弱、特に梅雨明けの遅延で生育のおくれている稲は肥料を早目に施すこと、追肥がおくれると危険がある。



寝込襲い六名検挙

平署の暴力狩り進む

旧盆を控えて暴力団狩りを行っている平署は更に十四日夜警員を動員して寝込みを襲い四倉町本町土工笹川真(三四)、同漁夫鈴木定夫(三四)、同字仲町土工緒方某(二七)、四倉町戸田字五百田土工木村正志(三二)、同字狐塚土工堀田光襲(三五)、平市字馬目字佐美彦二(三〇)六名を逮捕した。

宇佐美は十一日午後十時三十分ごろ四倉町仲町飲食店日本ビール佐藤ソノさん方前路上で飲酒の上、客の同仲町出羽柳三さん(三七)にインネンをつけチョツキの殴打したうえ、ける、の暴行を働き全治四週間の傷害を与えた。

鈴木は去る十二日前記飲食店で女給の飯田静江さん(二四)にビールを飲ませろ」とガーゼに包んだビストル様のものと西洋カミソリを突き付け、ビール八本千四百円相当の恐かつを働いたもの。

猪方は去る十二日午後十一時ごろ同仲町飲食店佐藤ソノさん方で木村と共謀の上、ビール八本千八百円相当を喝取したもの

木村は十二日午後十一時ころ前記飲食店で鈴木と共謀してビールなど千五百円相当を無銭飲食したもの宇佐美は笹川と共謀して十一日夜四倉町仲町地内路上で同字仲町出羽柳三さん(三七)に因縁をつけて殴るけるの暴行を働き全治四週間の傷害を与えたもの

大漁踊り

平で猛練習

平市は二十九年豊間と合併して初めて海を持つたが、これを記念して平独得の大漁節踊りをつくろうと同市田町の花柳登代蔵師が振付を研究の結果、このほど情緒豊かな踊りが完成したので、平料芸組合のきれいどころ六十余名は十一日から花柳登代蔵師宅でこの大漁節踊りの練習をはじめた。

大漁節は昔から浜通りに伝わる有名な唄である。芸者さんたちはめかた姿ながら「一つとせ、ひけやひけひけ地引網、中には黄金の桜タイ」の調子よい唄に合せて情緒豊かな踊りに汗を流している。

タバコ耕作組の新役員

石城タバコ耕作組合連合会の役員会はこのほど開き、新役員を次の通り選出した。◇会長＝金成茂治(好間)◇副会長＝荒川久馬(遠野町)◇代議員＝小野静秋他二十九名。

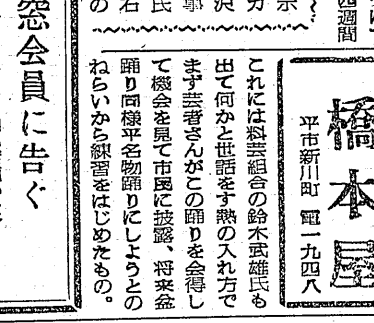
地検平支部長に柏木氏

十五日付で福島地検平支部長に前橋検秋田支部長柏木忠氏(四七)が決った。

柏木氏は福島県出身で昭和十年中央大学法学部卒業後、東京地裁検事局検事と振出しに盛岡地検、福島地検白河支部、仙台地検石巻支部を経て昭和二十六年山形地検次席となり一昨年十二月前橋検秋田支部長となった。在任中は秋田、宮森、山形の三県の選挙事件を処理、東北人特有のねばり強い性格で余暇をみてはキャツボールに興じている。姓子夫人(三七)との間に二男一女がある。

湯本温泉の宣伝ポスター

秋の行楽季節を前にひかえた湯本温泉観光協会はこのほど「秋のとう治と行楽は水石ゴルフ場を抱える湯本温泉に是非どうぞう」と宣伝ポスターを作成、関東、東北などの各駅、公社各案内所、団体、会社などに配附掲示このポスターは全紙版にイブカ商業写真研究所カメラマン北沢規定氏が撮った温泉、日本交通事業社専属デザイナー橋本正八氏が描いた秋色の夏井渓谷と水石磐城七浜などを四色刷したもの



今晩のラジオ

NHK(第一)

6、00 音楽劇
6、25 七つの誓い
7、30 即興劇場
8、15 浪花節
9、05 ニュース解説
9、15 のど自慢家庭音楽会
10、15 思い出の落語
10、45 納涼お国めぐり

ラジオ福島

6、05 蛟馬天狗
6、15 スイートコンサート
6、25 福島昔話
6、40 ぼろぎれ王子
7、10 録音ニュース
7、15 人情馬鹿物
7、30 演芸甘辛亭
8、00 素人物まね コンクール
8、30 浪曲 落語
8、50 キツコーツルアワー
9、00 明色アベック歌合戦
9、30 夢のステージ
10、05 名作アルバム
10、25 どくろ銭
10、35 夜の希望音楽会
11、05 時事解説

今晩の映画

…世界館…
6、54 花頭布
8、43 あさ潮ゆう潮
21日マデ・電558

…民劇…
7、25 恋すれど恋すれど物
9、10 語 カラコルム
21日マデ・電1322

…東映劇場…
6、24 宝島遠征
8、34 紅たすき緊浪人
21日マデ・電65

…ひかり座…
7、00 蛮地の斗争
8、00 征服者
24日マデ・電1338

…聚楽館…
7、15 ローンレンジャー
8、55 たくましき男達
20日マデ・電470

…平館…
7、05 流れの花
8、30 晴れた日に
21日マデ・電466

ナイトショウ
15日―17日
唄う浩吉！腕も度胸も日本一！
意地にからんだ長脇差仁義！
紋三郎の一本
高田浩吉・沢村国太郎・堺駿二
角梨枝子・木暮実千代・中山昭二
秀
上映10時30分 ¥40円
世界館

御名入染
手絆浴旗天衣頸ん敷れ呂拭
風の旗
品質と文字で評判の
馬目染工場
平市五丁目 電五五八

四倉高同窓会員に告ぐ
第七回総会を次の通り開きますから御出席願います
◇期日 八月十九日午前十時
◇場所 四倉高校礼法室
総会終了後は羽仁説子先生の〝新生活と青年〟の御講演が有ります(昼食の準備あり)
四倉高校同窓会
会長 吉田豊重

佛具
橋本屋
平市新川町 電一九四八

いつもトップスタイル
白靴一掃 原価提供
11日より―20日迄
ビニール製……1割引
白革靴……2割引
他、紳士婦人、靴秋物……1割引
靴とスポーツ用品
大塚

佛壇・佛具特賞中
◇お注文はお早目に是非……
平指定商 電々指定の店 平福対協
伊東家具店
営業所 平市新川町 電四六四
常磐市湯本 宝海

マイホール物産会
代理店 袋屋本店 電516
夏の味覧
ソフトクリーム
ゼヒ御賞味下さい
平凡 ¥40

位牌佛具
是非御用命は
道花の店 仏具の店
山光堂へ
平市四丁目本局前電五五〇
平市研町公園下 電二〇四三